

羅 針 盤			方 策		第1回 点検・評価			第2回 点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 本校の教育活動に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	① 基礎基本の充実と深い学び及び心身の健全育成のための諸施策を充実させる。	② 授業や行事に生徒が主体的に参画できるような環境作りや工夫を進めるなど、支援体制の強化を図る。	A	A	引き続き教育目標の実現に向けた取り組みを充実させていくとともに、取り組み内容の改善を図る。 生徒の主体的な参画への環境作りや工夫を継続して進める。 「総合的な探究の時間」についての内容改善への取り組みを継続していく。	A	A	策定したグラウンドデザインに基づき、「育てたい生徒像」「目指す学校像」の実現に向けた取り組みを推進する。 コロナ禍での海外交流やボランティア活動、学校行事の持ち方を工夫し、生徒が主体的に参画できるような支援体制を築く。 これまでの各授業と「総合的な探究の時間」の取り組みについてまとめと振り返りを行い、その体系化・深化を継続する。	
		② 学校生活が充実していると感じている生徒が80%以上である。			③ 各教科の授業や「総合的な探究の時間」の探究的活動に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A		A	A		B
		③ 各教科の授業や「総合的な探究の時間」の探究的活動に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。			④ ⑤ 生徒の知的好奇心を刺激し、意欲的に学習する姿勢を確立することができるように、各教科における更なる授業改善を進める。また、ICTの活用と探究的学習の体系化・深化を推進していく。	A		B	A		B
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 授業毎のねらいを掴み、主体的・協働的な学びから、学習理解が深まったと考える生徒が80%以上である。	⑥ ねらいを明確にして教材を精選し、指導内容の充実を図る。	⑦ 授業と各課題を有機的に関連づけ、内容の充実を図る。	A	B	コロナ禍で協働的な学びが制限されている中でも各教科で工夫して生徒の学習を支援してきたことを継続する。また、ICTの活用を含めた授業改善を一層図る。学校での取り組みを保護者へ効果的に周知する。	A	B	各教科や個々の教職員で工夫して生徒の学習を支援してきたことを継続する。また、ICTの積極的な活用と主体的・協働的な探究的学習の展開を進める。 ねらいと指導内容を点検し、生徒がその意義を理解し、主体的に取り組むように実施する。 授業と各課題を有機的に関連づけ、内容の充実を図る。	
		⑤ 授業に満足している生徒が80%以上である。			⑥ サタデープランや各種補習に積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。	B		A	C		A
		⑦ 知識・技能の習得のため、各教科の課題に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。			⑧ 生徒の1日平均の家庭学習時間が2時間以上である。	B		A	C		A
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑧ 生徒の1日平均の家庭学習時間が2時間以上である。	⑨ 生徒指導と進路指導は車の両輪であるという意識のもと、規律ある生活態度を基盤とする充実した学校生活を送れるように、指導体制・個別指導・保護者との連携を一層強める。	⑩ マナーアップ、交通安全教室を核に日常の様々な機会を捉えて、事故が深刻な結果となることの認識と交通ルール・マナーの遵守意識を高める。	A	C	学習のモチベーションを高める工夫を継続し、授業をとおして生徒にそれを伝えるとともに、家庭学習の重要性を生徒に理解させる。一方で、有効な課題の質と量について、教科・学年で議論をしていく。	B	A	生徒の学習意欲を高める、より具体的な方法を工夫していくとともに、面談等でアドバイスやサポートを続けていく。	
		⑨ 知識・技能の習得のため、各教科の課題に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。			⑩ 生徒の1日平均の家庭学習時間が2時間以上である。	B		C	C		C
		⑩ 生徒の1日平均の家庭学習時間が2時間以上である。			⑪ 生徒の自主性を育てるとともに、顧問がきめ細かな指導を行う。	A		A	A		B
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑪ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑫ 個々の生徒に対応した支援を行うとともに、いじめの予防と防止に努める。	⑬ HR、集会等様々な機会に自己管理能力の大切さを生徒に理解させる。 遅刻や欠席の多い生徒個々の理由を把握し、担任・学年団・生徒指導部が連携して個別指導に努める。	A	A	継続して教職員間の共通理解を図り、生徒に挨拶・身だしなみの重要性を繰り返し指導する。 また、スマートフォン・SNSの利用については折に触れてマナー向上を訴える。	A	B	組織的・継続的な指導を通して、規律ある生活態度と自律心とを育成する。 日常の様々な機会を捉えて指導することで、事故が深刻な結果となり得ることの認識を高める。 また、朝の身だしなみ指導時の交通指導を継続する。 生徒の自主性を育てるとともに、顧問がきめ細かな指導を行う。	
		⑫ いじめ防止など人権教育が充実していると思っている生徒が80%以上である。			⑬ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。	B		A	C		A
		⑬ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。			⑭ 1日平均遅刻者数はクラスで2.5%以下である。	A		B	A		B
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑭ 1日平均遅刻者数はクラスで2.5%以下である。	⑮ 「総合的な探究の時間」やLHR等の進路学習の計画が充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑯ 1年生3学期の段階で、自己の適性を考えて文理選択をできた生徒が80%以上である。 2年生3学期の段階で、進路希望を考慮して科目選択をできた生徒が80%以上である。	A	B	人権やいじめに関して全職員が共通認識のもと指導にあたり、外部の専門家とも連携を図り、予防と防止に努める。職員研修も継続する。 必要に応じて保護者と情報交換を密に行い、生徒の状況把握と指導を行う。 コロナ禍による生徒の心身の健康について、担任・学年団・生徒指導部が連携して留意し、必要に応じた個別指導に努めてきた。今後もきめ細やかな指導に努める。 また、機会を捉えて生徒・保護者へ学校全体の状況を周知する。	A	B	個々の生徒に対応した速やかな対応と支援を行うとともに、いじめの予防と防止に組織的かつ速やかに努める。 生徒の心身の健康について、担任・学年団・生徒指導部が連携して留意し、必要に応じたきめ細やかな個別指導を今後も継続する。 また、機会を捉えて生徒・保護者へ学校全体の状況を周知する。	
		⑮ 「総合的な探究の時間」やLHR等の進路学習の計画が充実していると感じている生徒が80%以上である。			⑯ 1年生3学期の段階で、自己の適性を考えて文理選択をできた生徒が80%以上である。	A		B	A		B
		⑯ 1年生3学期の段階で、自己の適性を考えて文理選択をできた生徒が80%以上である。			⑰ 「自己のあり方」と「将来の職業」との関連を考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて主体的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A		B	A		B
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑰ 「自己のあり方」と「将来の職業」との関連を考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて主体的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	⑱ 定期的に学年通信を発行し、80%以上の保護者に学年通信に目を通してもらおう。	⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	A	C	探究的学習をとおして自己認識の深化、目標を明確化させ、進路実現を支援する。コロナ禍で進路行事が削減される状況でも内容を充実させるよう工夫する。 三者面談等をとおして、保護者とも連携して進路指導に取り組む。	A	C	ICT機器を活用しながら情報を積極的に収集して、主体的な進路選択ができるように、生徒の実態に即して計画的に実施する。 生徒自身がその適性や能力を認識したり、進路希望について理解を深められたりするように、こまめな面談を実践する。 探究的学習においてもICT機器を活用し、自己認識の深化や進路目標の具体化、明確化が進むように支援する。また、三者面談等をとおして、保護者とも連携して進路指導に取り組む。	
		⑱ 定期的な学習量調査と個別面談をとおして、家庭学習についてのアドバイスとサポートをする。			⑲ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	A		B	A		B
		⑲ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。			⑳ 学習用端末やICT機器(プロジェクタ等)を、授業や家庭学習で利用していると答えた生徒が80%以上である。	A		B	A		B
VII 開かれた学校づくりに努めていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑲ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑳ 定期的な学習量調査と個別面談をとおして、家庭学習についてのアドバイスとサポートをする。	㉑ 分散登校時に進んだICT機器の活用を学校全体で推進する。また、学習用端末を利用した朝会連絡やリモート会議を積極的に取り入れる。	A	B	朝の身だしなみ指導時に、正門前での交通指導を開始した。また、適時な注意を通して、交通ルール・マナー遵守を強く訴えていく。 主体的・自主的に取り組めるような練習内容や適度な休養日の設定など、生徒と顧問との信頼関係のもとで活動できる環境整備を図る。	A	B	一斉メールで昨年度同様にこまめに情報提供を行った。その継続と、Webページへの学校行事と部活動活動状況などの生徒の活動状況の報告に力を入れる。	
		⑳ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。			㉑ 分散登校時に進んだICT機器の活用を学校全体で推進する。また、学習用端末を利用した朝会連絡やリモート会議を積極的に取り入れる。	A		B	A		B
		㉑ 分散登校時に進んだICT機器の活用を学校全体で推進する。また、学習用端末を利用した朝会連絡やリモート会議を積極的に取り入れる。			㉒ 授業でのICT機器の活用を学校全体で推進する。また、学習用端末を利用した朝会連絡やリモート会議を積極的に取り入れる。	A		B	A		B